

- 問1 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化（年較差）が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため | 2. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため | 3. 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため | 4. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問2 岩手県の南部鉄器においてIH調理器に対応した製品が開発されたり、青森県の津軽塗においてスマートフォンのカバーが作られたりしています。伝統的工芸品の産業において、このような取り組みが行われている背景として最も適切なものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 天然の原材料の使用を全面的に禁止し、現代の工業製品と同じプラスチック素材へ置き換えることで耐久性を高めるため | 2. 伝統的な技法を維持するために、江戸時代から続く製品の形や用途を一切変えずに保存することを目的とするため | 3. 伝統的な技術を守りつつ、現代の生活様式に合わせた製品開発を行うことで、国内外への販路を拡大するため | 4. 手作業による工程をすべて廃止し、機械による大量生産に切り替えることで、製品の価格を大幅に下げるため |
|---|--|--|--|
- 問3 東北地方の太平洋沿岸部には、山地が海に沈み込んでできた複雑に入り組んだ海岸線が見られます。この「リアス海岸」と呼ばれる地形が漁業に与えている影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 海岸線が直線的で遠浅の海が広がるため、大規模な干拓を行いやすく、沿岸部での稲作との兼業が盛んである。 | 2. 水深が深く、波が穏やかな入り江が多く形成されるため、ワカメやカキなどの養殖業や良港の建設に適している。 | 3. 冬の季節風の影響を受けにくいため、一年を通じて温暖な気候が保たれ、亜熱帯性の魚類の定置網漁が中心となっている。 | 4. 砂浜海岸が続くため、地引網による漁が発達しており、主に加工用のイワシを大量に漁獲するのに適している。 |
|---|--|--|---|
- 問4 日本各地で受け継がれてきた伝統行事について、東北地方の秋田県と近畿地方の京都府にそれぞれ伝わる伝統的な祭りの組み合わせとして正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. 秋田県：竿燈まつり
京都府：祇園祭 | 2. 秋田県：竿燈まつり
京都府：ねぶた祭 | 3. 秋田県：花笠まつり
京都府：祇園祭 | 4. 秋田県：ねぶた祭
京都府：祇園祭 |
|-------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|
- 問5 東北地方の稲作において、気候特性と農業技術の適応について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日本海側では「やませ」の影響による干ばつが多いため、干拓地を利用した大規模な灌漑施設による銘柄米作りが行われている。 | 2. 夏の低温被害である冷害を避けるため、品種改良によって耐冷性と食味を両立させた銘柄米の生産に力を入れている。 | 3. 冷害対策として、全ての水田を温室のような施設栽培に切り替えることで、高級な銘柄米を安定供給する体制を築いた。 | 4. 広大な平野を活かして、夏と冬で異なる作物を作る二毛作が全域で普及しており、米の銘柄化は進んでいない。 |
|---|--|---|---|
- 問6 ある都市を起点とした鉄道による移動時間において、東京まで約1時間30分、盛岡まで約2時間、秋田や青森まで約3時間で結ばれている、東北地方の交通の拠点となっている都市の名称を答えなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 福島市 | 2. 山形市 | 3. 仙台市 | 4. 盛岡市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 東北地方の中央部に位置する奥羽山脈は、地域の気候に大きな影響を与えています。冬の季節風が吹く際、この山脈が障壁となることで生じる現象について説明したものとして、正しいものはどれか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 山脈の影響で雲が遮られるため、冬の間は日本海側・太平洋側の両方で乾燥した晴天が続く。 | 2. 日本海側から湿った空気を運ぶ季節風が山脈にぶつかり、日本海側で多くの雪を降らせる。 | 3. 太平洋側から吹き込む湿った冷たい北東風が山脈にぶつかり、日本海側に冷害をもたらす。 | 4. 冬の季節風が山脈を越える際に熱を持ち、太平洋側の気温を著しく上昇させる。 |
|---|--|--|---|
- 問8 東北地方には奥羽山脈などの火山帯が広がっており、その地形的特徴を活かした発電が行われています。火山の地下にある蒸気や熱水を利用して電力を生み出す、再生可能エネルギーの一つである発電方式を何といいますか。（2026年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 地熱発電 | 2. 水力発電 | 3. 風力発電 | 4. 太陽光発電 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問9 山形県の内陸部では、高速道路の整備に伴って電子部品などの工場が多く進出しています。このような製品を作る工場が、沿岸部ではなく内陸部の高速道路沿いに立地する理由として最も適切なものはどれか、選びなさい。（2017年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 電子部品は小型で軽量なため、高速道路を利用したトラック輸送に適しており、付加価値が高いため輸送費の負担を抑えられるから。 | 2. 電子部品は重量があり、容積も大きいので、鉄道や船舶による大量輸送を前提とした大規模な物流拠点が必要だから。 | 3. 原料となる鉄鋼などの重い資材を高速道路で海外から直接輸入し、生産コストを大幅に削減する必要があるから。 | 4. 内陸部は沿岸部に比べて地価が極めて高く、ブランド力を高めるためにあえて高級な立地条件を選んでいるから。 |
|---|--|--|--|
- 問10 東北地方の中央部を南北に貫くように走り、日本最大級の長さを誇る山脈の名前を答えなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 北上高地 | 2. 奥羽山脈 | 3. 出羽山地 | 4. 越後山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 三内丸山遺跡周辺の土地利用の変化について、1980年代後半と2020年代の状況を比較した記述として、地理的・歴史的な背景から考察して最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 遺跡の西側を流れる河川を大規模に埋め立て、国際的な貿易港が建設された。 | 2. 遺跡の全域が工業地域として再開発され、かつての集落跡はすべてコンクリートで覆われた。 | 3. 周辺の農地がすべて宅地造成され、遺跡は大規模な新興住宅団地の中に埋没した。 | 4. 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。 |
|--|---|--|--|
- 問12 岩手県南部の沿岸で見られる、複雑に入り組んだ「リアス海岸」という地形的特徴を活かして、特に盛んに行われている活動はどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|----------------|---------------------|-----------------|
| 1. かきやわかめの養殖 | 2. 大規模な干拓による稲作 | 3. 遠洋漁業の大型船専用のドック建設 | 4. 砂浜を利用した地引き網漁 |
|--------------|----------------|---------------------|-----------------|
- 問13 地形図を用いて特定の地域の変容を調査する際、1998年には工場として利用されていた場所が、2025年には別の新しい建物に建て替えられている状況から読み取れる事柄として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地域の歴史的な景観を後世に伝えるため、工場の建物が当時の姿のまま永久保存された。 | 2. 大規模な災害に備えるため、工場跡地のすべての建物が取り壊され、一切の建築が禁止された。 | 3. 産業構造の変化や都市機能の更新に伴い、工場の跡地が別の用途へと転換された。 | 4. 食料自給率を向上させるため、工場の跡地がすべて大規模な水田や畑として整備された。 |
|---|--|--|---|